

環 境 報 告 書

令和4年11月報告

事業所名	共和観光株式会社 松本リサイクルセンター		認定 ランク	(☆)・☆☆・☆☆☆	
概 要	所 在 地	松本市大字島内 6931-87			
	代 表 者	江本 日東			
	概 要 (従業員数・ 事業内容等)	一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬及び中間処理 プラスチック（主にペットボトル）のリサイクル 古物商 金属くず商 従業員数 23名			
	担 当 者	所 属	総務課	名 前	鳥飼 隆宏
	連 絡 先	電 話	0263-40-2150	FAX	0263-40-2160

○ 環境に配慮した取組み内容

環境に対する理念・方針	別紙参照
環境に関する取組み目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. CO2 排出量の削減 2. 使用地下水の削減 3. 太陽光発電の実施 4. 工場内外の清掃活動 5. 見学者の受け入れによる環境への啓蒙活動 6. ペットボトルキャップの回収・寄付による、ワクチンを海外の子供に送る活動への参加

<p>具体的な取り組み内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. CO2 排出量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション 21 を実施する中で、消費電力・ガソリン・軽油・灯油等を計画的に管理している。 2. 使用地下水の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・「株式会社サクセン」と保守管理契約を締結し管理している。また、工場内でも使用水を再利用して削減に努めている。 3. 太陽光発電の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・8年前から当社工場の屋根に、太陽光発電システムを設置している。 4. 工場周辺の清掃 <p>工場の敷地内と、周辺の道路で清掃活動を実施している。</p> 5. 見学者の受け入れ <ul style="list-style-type: none"> ・長野県内の自治体や学校を中心に工場見学を実施して、プラスチックのリサイクルを通して環境活動への理解を深めてもらっている。 6. ペットボトルキャップの回収による寄付を通して、貧困地域にワクチンを送る「世界の子どもにワクチンを」日本委員会の活動に参加している。 <p style="text-align: center;">* 2022年の「環境活動レポート」(エコアクション21)は、2023年5月頃に提出します。</p>
-------------------	---

<p>実施結果（成果）</p>	<p>「具体的な取り組み内容」の、</p> <p>1 及び 2 は「エコアクション 21」による取り組みを継続して実施している。 （2021年のCO2排出量は549.769kg-CO2、使用地下水は18,403 m³）</p> <p>3 の太陽光発電量は、2021年 334,314kwh</p> <p>4 は、当社工場周辺の清掃を全社員で定期的に行っている(主にゴミ拾い)</p> <p>5 は、市町村の衛生委員会(松本市波田支所)、学校(松本市養護学校)、取引先等が工場見学に来訪した。(コロナ禍の為、中止した所が多数あり)</p> <p>6 は、「世界の子どもにワクチンを」日本委員会を通して、ペットボトルキャップの回収と寄付を実施している(2021年は約15t)</p>
<p>課題・問題点とその改善に向けて</p>	<p>国内でも大手企業(セブンイレブン、サントリー、ユニクロ等)による、ペットボトルのリサイクル活動が活発になってきているが、仕入価格が高くなり当社のような小企業は経営環境が悪くなっている。</p> <p>これは政府の方針であり改善策は難しいが、当社としては地元の市町村や企業と連携して地道に取り組むしかないと考えている。</p>
<p>その他、アピールポイント等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年1月に「長野県SDGs推進企業」に登録して、子供達の、そして地球の未来の為に活動しています。 ・PETボトルのリサイクル企業は県内に2社しかなく、長野県環境を守る企業です。 ・工場見学等を通して、地域の方々へ環境問題への啓発につとめています。

2. 環 境 方 針

環境理念

共和観光株式会社 松本リサイクルセンターは、排出された廃プラスチック類等の再資源化事業が大切な地球環境の再資源化活動と認識し、環境保全に貢献する企業として行動します。

環境方針

1. 廃プラスチック類のリサイクル事業は再資源化の重要な活動で技術的、経済的可能な範囲で循環型社会形成の為に継続的に実施します。
2. 環境に関連する法令や規制及びその他の要求事項を重点活動テーマとして取組みます。
3. 社員全員が積極的に環境保全に関心を持ち、下記の事項を重点活動テーマとして取組みます。
 - ① 地球温暖化防止の為に、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - ② 廃棄物減量化に努力し、排出者への分別指導を提唱します。
 - ③ 節水の推進に取組みます。
 - ④ グリーン購入を実施する。
 - ⑤ 地域での環境活動に積極的に参加します。
4. この環境方針は、全ての社員に周知徹底し、活動する事を誓います。
環境方針の実現により、美しい地球を子孫の為に残せるよう継続します。

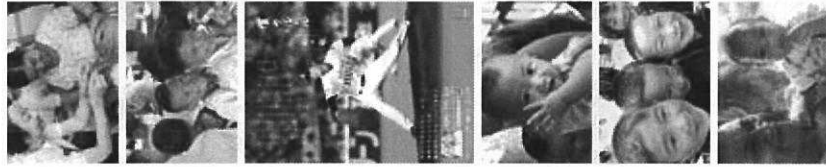
2015年 12月 25日
共和観光株式会社
松本リサイクルセンター
センター長 赤津 聡

ワクチンで救える命、 1日4,000人。






認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会 (JCV) は、開発途上国へワクチンを贈り、子どもたちの笑顔と未来を守るために活動する民間の国際支援団体です。(1994年創設)

私が幼い頃、日本は当時の先進国から医薬品やミルクを援助してもらい、多くの恩恵を受けました。受けたら、今度は恩返しをする。「おたがいさま」の精神、「ありがとうのキヤッチボール」をする気持ちで活動を続けています。






創設者
細川 佳代子 メッセージ



JCVワクチン支援活動のあゆみ

- 1994 JCV創設
- 1996 ミャンマー支援開始 
- 2002 NPO法人格取得
- 2005 竹下景子さんワクチン大使に就任
和田毅選手「僕のルール」開始
- 2006 認定NPO法人認可取得
- 2007 ラオス支援開始 
- 2008 ブータン支援開始 
ミャンマーサイクロン被害緊急支援
- 2010 バヌアツ支援開始 
- 2011 東日本震災被災地支援 
「JCV子どもの笑顔プロジェクト」開始 (~2014年)

緊急支援

- 2010 タジキスタン 
- 2011・14 ソマリア 
- 2012-13 マダガスカル 
- 2013 シリア 
- 2015 パキスタン 



ワクチンで助かる ちいさな命を 救いたい。



世界の子どもに
ワクチン
JCV
Japan Committee
The World's Children

認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会
〒108-0073 東京都港区三田4-1-9 三田ヒルサイドビル8F

☎03-5419-1081
(受付:月~金 9:00~17:00)

メール info@jcv-jp.org

www.jcv-jp.org

世界の子どもにワクチンを



感染症の脅威と、ワクチンの支援の必要性。

感染症は、グローバル化による人の移動と共に、瞬く間に広がりました。特に医療が行き届かない途上国では脅威となり、予防のためのワクチンが、子どもたちの命を守るために大きな効果を発揮します。

ワクチンの価格は、一人分わずか20円。

ワクチンの価格はとても安価です。ポリオワクチンであれば、一人分わずか20円で支援することができます。

ワクチン価格表

ポリオ (小児まひ)	約20円
MMR (はしか、おたふくかぜ、風疹)	約165円
BCG (結核)	約20円
MR (はしか、風疹)	約75円
DPT (ジフテリア、百日咳、破傷風)	約20円
五価ワクチン (DPT+B型肝炎+Hib)	約135円

1USドル=113.8円/2021年12月時点 (毎年更新)

JCVの活動

01 | 贈る

子どもたちへのワクチン支援

皆さまからお預かりしたご寄付を、支援国からの要請にもとづいてワクチンや関連機器に換え、現地の国連機関UNICEFや保健省と協力して子どもたちへ届けています。



02 | 広める

ワクチン支援の必要性を伝える啓発活動

感染症の脅威やワクチンの重要性を伝え、国際支援やボランティアへの理解を深めることを目的に、スタッフによる講演など、様々な活動を開催しています。



03 | 未来につなげる

子どもの未来につながるその他の支援

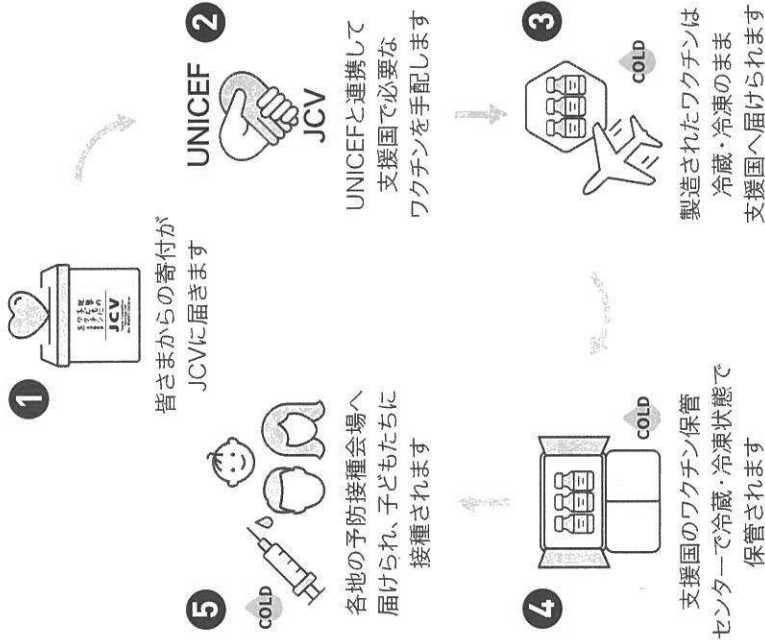
ワクチン支援に限らず、大規模災害発生時などには、被災した子どもたちへの支援活動を行っています。

- ミャンマーサイクロン (2008年)
- 東日本大震災 (2011~2014年)



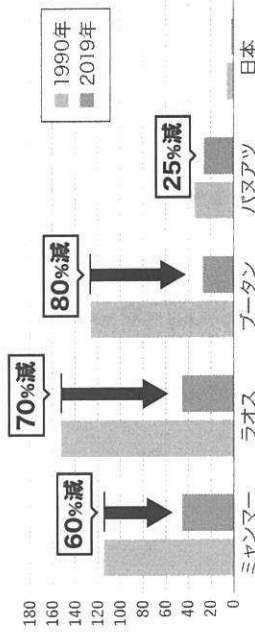
寄付がワクチンに換わるまで

お預かりしたご寄付を、UNICEFと連携してワクチンや関連機器に換え、支援国の子どもたちへ届けます。



活動の成果

1990年と比べ、常時支援国の子どもの死亡率は大きく改善しました。しかし、日本と比べると現在も深刻な状況です。



出典: UNICEF

引き続き皆さまのあたたかいご支援が必要です。

? ワクチン支援に必要な関連機器とは?

ワクチンを子どもたちに接種するためには、ワクチンを適切な温度で管理する、コールドチェーンと呼ばれる関連機器も必要です。例えば、ワクチンを低温保管するための保冷库やコールドボックス、ワクチンキャリアー、車では入れない場所に届けるためのバイクなどです。



地域の皆様と地球の未来のために これからも貢献してまいります。



会社概要

社名	共和観光株式会社	昭和44年 1月	共和観光株式会社 設立
事業内容	松本リサイクルセンター（リサイクル事業） チャンピオン（アミューズメント事業、県内9店舗） チサンブランド長野（ホテル事業） デザインサービス リゾートアロハ安曇野（介護事業）	昭和44年 3月 昭和63年 10月 平成 7年 5月 平成 9年 12月 平成 10年 11月 平成 11年 10月 平成 16年 9月	松本市女鳥羽に1号本店 オープン 株式会社登記、共和観光株式会社となる 共和観光株式会社 飯田支店 設立 ホリデイ・イン・エクスプレス長野 オープン 共和観光株式会社 長野支店 設立 共和観光株式会社 東京支店 設立 松本リサイクルセンター 設立
設立	昭和44年		
資本金	3000万円		
従業員数	281名(男性177名 女性104名)2019年12月現在 *従業員数はアルバイト、パートを含む		
代表者	代表取締役社長 江本日東		
売上高	182億円(2019年12月期)		
事業所	本社：松本市女鳥羽2-1-2 リサイクル事業部：松本市島内6931-87 アミューズメント事業部：松本市城西1-1-45 ホテル事業部：長野市南千歳2-17-1 介護事業部：安曇野市豊科3966-41		プラスチックリサイクル工場 稼働開始 ベットポトルリサイクル工場 稼働開始 チサンブランド長野 リブランドオープン デザイナー・ビズリゾートアロハ オープン

沿革

それが私達の目標です

未来の地球のために 地球と資源を大切にします。

許可可

- 産業廃棄物処分業許可 長野県許可 第2024143821号
- 産業廃棄物収集運搬業許可 長野県許可 第2004143821号
山梨県許可 第01900143821号
岐阜県許可 第02100143821号
栃木県許可 第00900143821号
静岡県許可 第02201143821号
群馬県許可 第01000143821号
- 一般廃棄物処分業許可 松本市松環業指令第179号
- 一般廃棄物収集運搬業許可 安曇野市指令2廃第342号
- エコアクション21 0010606
- 長野県SDGs推進企業 1170

主保有資格

- 産業廃棄物処分課程講習修了者
- 産業廃棄物収集運搬課程講習修了者
- 産業廃棄物中間処理施設技術管理者
- 施設リサイクル施設技術管理士
- 危険物取扱主任者
- 安全衛生推進養成講習修了者
- はい作業主任者
- 主任計量者
- 車両系建設機械運転技能講習修了者
- シヨベルローダー等運転技能者
- フォークリフト運転技能者

グループ会社

- 共和興株式会社 安曇野市穂高766-1
TEL.0263(83)4511 FAX.0263(83)8130
- 共和運送株式会社 安曇野市穂高8169-2
TEL.0263(82)8166 FAX.0263(82)6822
- 共和アスココン株式会社 安曇野市穂高牧766-1
TEL.0263(83)5411 FAX.0263(83)2181
- 設立/昭和45年
- 事業内容/骨材・砂利採取製販販売業・特定建設業
- 設立/昭和61年
- 事業内容/一般貨物自動車運送事業
- 設立/昭和62年
- 事業内容/アスファルト合材・生コンクリート製造販売
- 建設業・廃棄物の処理業

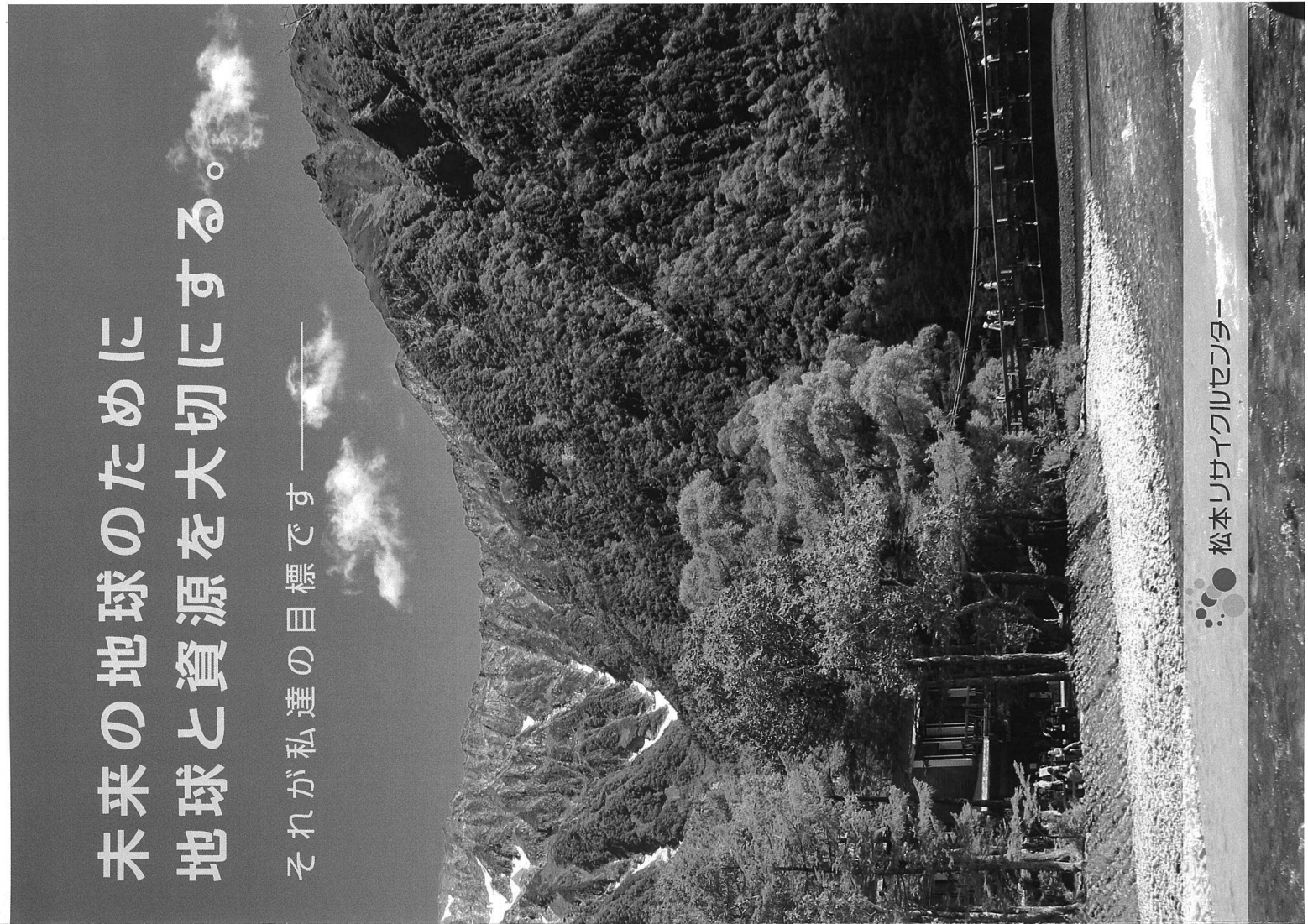


Re-CYCLE

■共和観光株式会社 本社 〒390-0806長野県松本市女鳥羽2-1-2 TEL(0263)36-3122 FAX(0263)36-3154
■松本リサイクルセンター 〒390-0851長野県松本市島内6931-87 TEL(0263)40-2150 FAX(0263)40-2160

共和観光株式会社 松本リサイクルセンター

松本リサイクルセンター



地球資源の有効活用を目標に 「リサイクル事業部」は これからも地球との 共存・共栄を目指します。

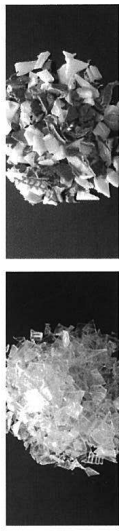


プラスチックの高品質リサイクルを促進

松本リサイクルセンターはペットボトル、その他プラスチックの再資源化と、紙類の圧縮梱包業務を通じて、資源の有効活動に取り組んでいます。プラスチック類は、当センターでPETフレークなどの状態に加工してメーカーに納品し、卵パックや車の内装材となる繊維など、様々な製品となって世に送り出されています。当社は単なる廃棄物リサイクル業者にとどまらず「プラスチックの原料問屋」として機能しているといえます。

柔軟性の高い素材であるプラスチックは、再生品の市場規模が大きく、非常に将来性のある事業分野です。当社は種類の多いプラスチックを分別、再生する高品質なリサイクルを他社に先駆けて実現し、そのノウハウを蓄積しています。今後はさらに「プラスチックのリサイクルなら共和製瓶」と認識して頂けて、自社の成形まで扱う業務拡大を目指しています。

プラスチックは扱い次第で資源にももみになりますが、当センターでの処理は再生可能なものはリサイクル材料として還元しておりますが、一部再生原料化が不可能なプラスチックについては委託しており、現状のリサイクル率はほぼ100%です。平成22年にはエコアクション21認証取得。また令和4年に長野県SDGs推進企業に登録されました。環境保護に対する啓蒙活動の一環として、定期的に工場見学会を開催しています。私たちは循環型社会の形成に貢献できる事業に誇りと喜びを持って、日々の業務に取り組んでいます。



松本リサイクルセンターは2010年「エコアクション21」を取得しました
 認証・登録番号 0010606
環境省環境省が「エコアクション21」を推進する企業として登録しています。



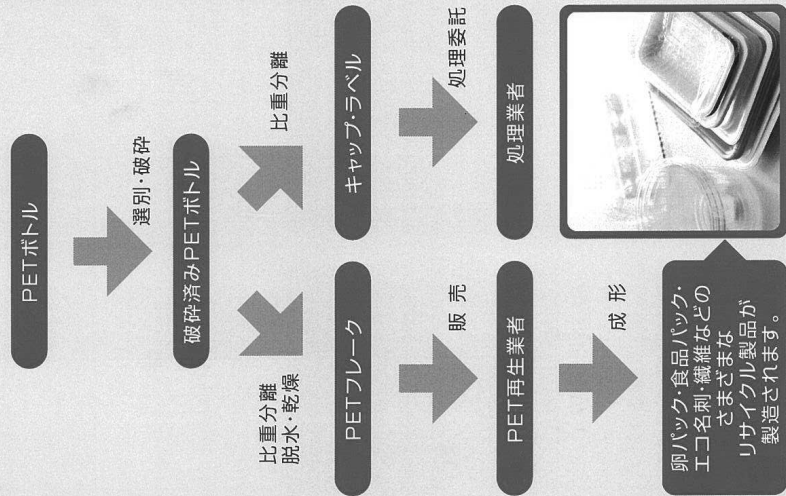
松本リサイクルセンターは2022年長野県SDGs推進企業に登録されました。
 「私たちは「11」を追求し、関わる人々を交差で環状に活動させることで「循環型社会」の構築に貢献する」という理念に基づき、環境型社会の形成にプラスチックのリサイクルを通して循環型社会の形成に努めます。
 また、子供たちのために美しい地球を構えることを社員全員が共有し、活動していきます。「エコアクション21」の資格を取り、環境保全に貢献する企業として行動しています。



- さらなるエンターテイメントをめざす「チャンピオン」グループ(長野県内8店舗展開中)
- チャンピオンBELZ 長野市桐原1-4-52
 - チャンピオン観高店 安曇野市観高8190-5
 - チャンピオンOZ 松本市世賀7883
 - チャンピオンANNEX 松本市元町2-2-22
 - チャンピオン誠訪店 諏訪市大字四賢1755-1
 - チャンピオン伊那店 伊那市福島512-1
 - チャンピオン駒ヶ根店 駒ヶ根市赤穂7255-1
 - チャンピオン飯田店 飯田市上郷飯沼1535-1

PETボトルの リサイクル

使用済みPETボトルを再資源化します。
 一般家庭および各施設で排出されるPETボトルは収集運搬車にて収集されます。PETボトルリサイクル工場では、このPETボトルを分別、破砕し、各種リサイクル品の原料となるPETフレークを生成します。このPETフレークを国内各メーカーに納品し、メーカーではPET樹脂を利用してリサイクル品を製造します。



■ その他、「成形不良プラスチック」や「使用済みプラスチック」のリサイクルも行ってまいります。



信州の表玄関に、ゆとりある空間と上質なくつろぎの時間を創出。館内レストラン「日本料理あさま」。

■ チサングランド長野 長野市南千歳2-17-1
 TEL:026-264-6000 FAX:026-264-5511

■ リゾートアロハ安曇野 安曇野市豊科9966-41
 TEL:0263-73-1331 FAX:0263-73-1333



長生き人生「いつまでも楽しく生き活き」と暮らせるお手伝いを。お客様が楽しく通えるデイサービス。